

調査期間 2015年4月1日～2016年4月30日

所在地 伊勢原市上粕屋

時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、  
縄文、旧石器

調査原因 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査

遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西方  
約2.5kmに位置する。



### 主な調査成果

東向きに緩斜面から古墳時代後期～奈良・平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが発見され、集落が営まれていたことが判明しました。竪穴住居跡は8軒見つかりました。全体を確認できなかったものもありますが、平面形態は一辺5.5～6.5mの正方形を呈するものが多く、いずれもカマドが設けられていたと思われます。住居跡からは、甕や坏などの土器が多量出土したほか、勾玉や刀子なども出土しています。掘立柱建物跡は、全体が明らかになったものはありませんが、6棟以上が存在していたものと思われます。柱穴の直径は50～60cmが主体を占めていて、柱間の距離は1.9～2.0mを測ります。規模は2間×3間かそれ以上あったようです。このほか、近世および中世の段切り・溝状遺構・土坑、縄文時代の集石、旧石器時代の遺物集中箇所なども発見されており、この場所が長期にわたって利用されていたことがわかりました。



古墳時代後期～奈良・平安時代全景



竪穴住居かまど遺物出土状況



竪穴住居跡出土勾玉



縄文時代 集石